

花のプロが教えるフラワーパークの花の楽しみ方

東京ドームの約8倍の広大なスペースに約2400種・40万本の植物が植えられている揖宿郡山川町にあるフラワーパークがごしま。ここを訪れずして花を語るなかれ、といわんばかりの西日本最大級のスケールを誇ります。外周だけでも5キロメートルはあるので、事前にフラワーパークの見どころを押さえておくのがポイント。今回は、フラワーパークの花のプロに、春のフラワーパークの楽しみ方についてアドバイスしてもらいました。



花のことならおまかせください、とフラワーパークの牧口さん

春に咲く花にはどんなものがありますか？

チューリップやビオラなど一般的に春の花といわれているものは、2月〜3月くらいです。ここで散ってしましますが、シャクナゲといえはふつう5〜6月頃に咲きますが、ここでは3月には楽しめるんです。つじの森に行けば、ツツジはもちろんシャクナゲに会うことができます。シャクナゲは暑さに弱いものが多いですが、ここでは暑さに強いものを植えてあり、鮮やかなピンクの色を咲かせてくれます。

3月の下旬から4月の中旬には、コンテストガーデンにあるイペーの花がきれいです。ブラジルの国花にもなっている黄色い花で、コガネノウゼンの名で知られています。

フラワーパークで、花びらまい

特集 ②

屋内庭園には、ブラジルの鹿児島県人会から贈られたイペーもあるんですよ。
5月になると、テーマガーデンのアマリリスが見事です。そして、5月の下旬には南米産のジャカランダが紫色の花を染ましてくれま。散った後も散策路を紫のじゅうたんに変えてくれるんです。ジャカランダを屋外で見ることができるとは、国内でも珍しく、開花の時期には多くの人が訪れますよ。

フラワーパークがおすすめする草木がありますか？

非常に珍しい植物としては、ヤシの仲間であるヒメシヨウジョウヤシですね。なんと、葉鞘が鮮やかな朱赤色



アマリリス、シャクナゲ、ジャカランダ、イペー



で、ヤシでは最も美しいとされています。日本最大級のハイビスカスやブーゲンビリアなどが咲く屋内庭園の中にも、是非足を運んでいただきたい。それと、ロマンチックな西洋庭園の近くで育っているブラックポニー。これは開花時期に槍のようにビュンと成長し、綿状の花が咲きます。

植物の他にも、おすすめは？

花のある所にはチョウが舞っていますので、それも楽しんで欲しいですね。アサギマダラはテントの中で飼育されていて、孵化するシーンなどもごらんいただけますよ。



旅のスケジュールの都合で一定の時間しか滞在できない場合、モデルコースがありますか？

はい、お時間に合わせて3つのモデルコースを組んでいます。つはメインの花のエリアだけをまわる30分コース。次に、花のエリアと眺めのいい展望回廊や風のエリアをめぐる60分コース。それに、花・光・風のエリアのすべてをまわる2〜3時間のフルコースもあります。また、高齢者やお体の不自由な方は園内の外周を走る無料バスを運行しています。また、植物に関する説明やご質問も遠慮なく係員にお申し付けください。

- 問合先／09933・353333(代表)
- 所在地／揖宿郡山川町岡児ヶ水1611
- 交通／JR指宿駅より鹿児島交通長崎鼻行きバスで約30分、JR山川駅より車で15分、長崎鼻公園の手前
- 駐車場／普通車610台、バス20台

花よりダンゴというあなたへ



花もきれいだけど、やっぱりダンゴも欲しいわという方へ、鹿児島で味わって欲しいダンゴをご紹介します。

一 かからんだんご

おだんごを「サルトリイバナ」の葉(鹿児島ではサルモサワラナイトゲバラ)「かからん」の葉というてくるんだ和菓子のこと。おだんごは「ちもぎだんご」「あすきたんご」があり、米の粉に砂糖を入れこねて蒸しあげ、かからの葉でくるんでありハープのような独特の風味と素朴さがお口の中に広がっていきます。

一 つたんだんご

日本全国に、しんこだんごはあるかもしれませんが、「元祖」を名乗れるものが鹿児島にはあります。日置郡日吉町に昔、深国院というお寺がありました。その石屋和尚は飢饉の際に田んぼに出て落ち穂を拾い、モチを粉にして餅を搗き、醤油をつけて焼いて盛に食べさせたと言います。それが、深国だんごの発祥と言われています。今は、米の粉を搗いて餅にし、しょうゆだれや砂糖しょう油、あんこをまぶしたものがあります。

一 よもぎもち

薬草としても使われる天然のよもぎを、餅といっしょにつきます。深い緑の色合いと独特の風味が自慢です。鹿児島産のおいしいお茶「よへん」もおすすめです。

其の十一 押し花体験



はがきに春の花をレイアウト
はがきに春の花をレイアウトして、押し花を作ります。押し花は、花の形や色を紙にうつすことで、長持ちさせることができます。



アイロンでプレスする

厳しく寒い冬を経るほど春の花はより華やかに咲く、という。暖冬傾向から一転、寒さが募る今期はどうなのだろう。揖宿郡山川町のフラワーパークがごしま「では、さくらやパンジー、チューリップが「足早く咲き誇っていた。秀麗な開聞岳と真っ青な空もセットで待っていた。ひんやりと冷たい風の中に、明らかな「春」を感じてしまう。そのフラワーパークがごしまで「春の押し花アート」を体験した。同パーク内に咲くオンシジウムやヒオラ、パンジー、チューリップなどの春の花を集めて、にわか押し花を作るのだ。本来は花弁をしっかりと乾燥させる必要があるらしいのだが、今回は街なかで売られている「押し花はがき」を使って簡便さを優先...



こんなキレイなはがきが完成
かわいらしい額に入れれば結構おしゃやれで映えるし、プレゼントにも喜ばれそう。世界にひとつだけのオリジナルの押し花はがき、春の一番の便りをだれに出すのかな？

薩摩おごじよ突撃レポート

「薩摩おごじよ突撃レポート」では、みなさまからの情報を募集！
だれも知らないこんな鹿児島、あなたが知りたい鹿児島について、Eメールでお寄せください。採用された方には、鹿児島県観光連盟の粗品をプレゼント。楽しい情報をお待ちしています。
●メールアドレス kptf@satsuma.ne.jp